

学習指導要領・国語科の『内容』に基づく単元配列表（一部抜粋）

資料2

思考・判断・表現

【目標】出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。

小学部国語科3段階

高3 A

4月

5月

6月

7月

8月

9月

聞くこと・話すこと	絵本の読み聞かせなどを通して、出来事などの話の大体を聞き取ること。	「年間を通じて」（作業） ・「聞き取り係」は先生の話を①作業内容②ががんばってほしいことを聞き取る。	「実習の前に確認しよう」（国語） ・情報を聞き取る。			「せんぼく校祭で販売しよう」（作業） ・納品先（安藤醸造、八柳）で販売の際の接客やレイアウトについて聞き取る。	
	経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考え、表現している。		「わかくさ交流で製品の作り方を伝えよう」（作業） ・交流リハーサルや交流で相手に伝わるようにガイドブックを読んだり見本を見せながら説明する。	「働く力を学んで伝えよう①」（作業） ・コミュニケーション（話し方、協力など）の力を高めるための場面（生徒同士を含むチェック、生徒の作業に手を出さなくて言葉で伝える）を設定する。			
	見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて考え、表現すること。						
	挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。	「オリエンテーション」「音読しよう」（国語） （姿勢、口形、声の大きさに気を付けて音読する。）			「観光案内の台本作りの秘伝の技」（国語） ・気持ちを表す言葉、肯定的な言葉についてかた作りをする。		
	相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。		「わかくさ交流で製品の作り方を伝えよう」（作業） ・交流リハーサルや交流で相手に伝わるようにガイドブックを読んだり見本を見せながら説明する。	「働く力を学んで伝えよう①」（作業） ・コミュニケーション（話し方、協力など）の力を高めるための場面設定（声の大きさを生徒同士で評価する）			
書くこと	相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。					「せんぼく校祭で販売しよう」（作業） ・販売に向けた製品のレイアウトやポスターについての話し合い	
	身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。			「修学旅行に向けて」（振り返り）（生単） ・心に残ったことを観点（したこと、見たこと、話したこと、気持ち）ごとに考えてくわしく書く。			
	見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。	「年間を通じて」（作業） ・目標が達成したか詳しく書いて振り返る。			「観光案内の台本作りの秘伝の技」（国語） ・事柄の順序を考えて文章を書く。	「せんぼく校祭で販売しよう」（作業） ・販売に向けたポスターの作成	
	見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。	「年間を通じて」（日指） ・大まかの文、くわしい文、次回に向けての項目に合わせて、学級の思い出（学級日誌）を記入する。	「わかくさ交流で製品の作り方を伝えよう」（作業） ・作業工程ガイドブック作りで作業工程のポイントを書く。	「年間を通じて」（日指） ・作業学習で用いる漢字を正しく書く。			
	書いた語句や文を読み、間違いを正すこと。			「働く力を学んで伝えよう①」（作業） ・自分の課題をもとにして外部講師への質問の原稿を書いたり、原稿をもとに撮影した動画を発信したりする。（ユーチューブで発信）			
読むこと	文などに対して感じたことを伝えること。						
	絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。	「音読しよう」（国語） ・情景を想像しながら、音読する。				「防災について考えよう」（生単） ・災害に関する説明文等を読み取り、災害時に安全に避難するための行動を考える。	
	絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。						
	日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。						
登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。							